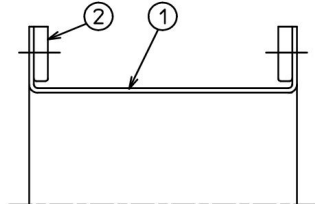


1. 作業前の確認

フランジタイプ



バンドタイプ

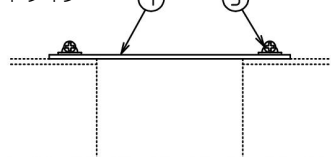


表1 部品表

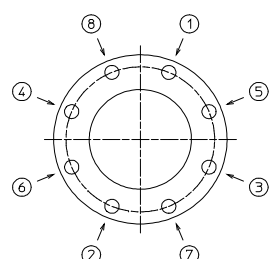
品番	部品名	材質
1	ボディ	高引裂シリコン
2	フランジ	SUS304
3	バンド	SUS304

施工前に次の事項についてご確認下さい。

- 口径、長さが適正か
- シール面に損傷が無い

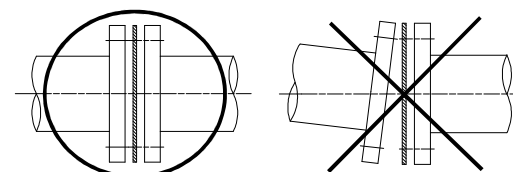
2-1. フランジタイプの取付

ボルト締め付け順



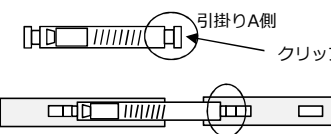
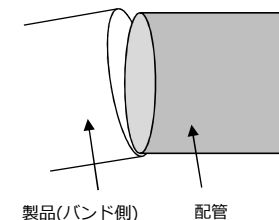
- ① ボルトは対角線に均等に締め付けて下さい。
- ② 反対側のフランジも同様に締め付けて下さい。
- ③ SUS製ボルト・ナットを使用する場合は、ねじ部に焼付け防止剤を塗布して下さい。

⚠ フランジ面が平行である事を確認の上、締め付けて下さい。



2-2. バンドタイプの取付 (フリーサイズバンドの場合)

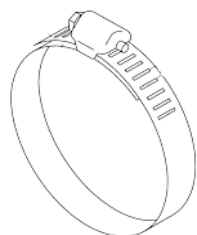
- ① 配管にボディの一部を引掛けて下さい。
- ② 残りのボディを伸ばしながら、配管に被せる様に取り付けて下さい。
※ 滑りにくい素材ですが、伸びやすいので引張り、広げながら取り付けて下さい。
※ 使用するバンドがばらせない形状の場合は、ボディを取り付ける前に配管側に通しておいて下さい。
- ③ 取りつける製品の外周長さから80mm短くバンドを切断して下さい。
- ④ 怪我・製品破損防止の為に切断面の角を滑らかに仕上げして下さい。
- ⑤ 切断したバンドを製品取り付け部に沿わせ、クリップの引掛り部を外側から斜めに挿入して取り付けして下さい。
※ この時、引掛りA側に1穴目を通して下さい。逆側を1穴目に取り付けるとバンドとクリップが干渉して締め切れない可能性があります。
- ④ 逆側の引掛りも同様に取り付け、クリップがスレないように注意してクリップのネジを回してバンド全体を締めて下さい。



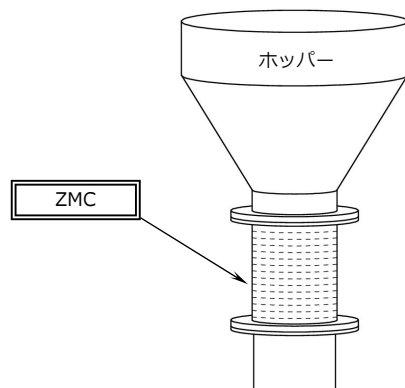
引掛り A側を1穴目を通して下さい。

ホースバンド

フリーサイズではない通常のホースバンドもご使用頂けます。
あらかじめボディの外径よりも大きく広げてから挿入し、クリップのネジを回して締め付けて下さい。



設置例



⚠ 注意事項

- 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。
やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないように、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 製品の周辺で溶接、ガス切断等の火気作業は行わないで下さい。
やむを得ず火気作業を行う場合は、製品に火気が当たらないよう十分注意して下さい。
- 製品表面を保温材や板金などで覆わないで下さい。製品本体の温度が上がり、破損の原因となります。
- ボルトの締付の際には、片締め・締め込み過ぎにならない様に施工願います。
- セットボルトは設置完了後に取り外して下さい。
- 設置後時間の経過と共にボディが硬化することがあります。
明らかに硬くなった場合は交換をお願いします
- フランジの取付ボルトやバンドクリップ部のネジは、増し締めをお願いします。